



## 翻訳実践と考察 『後拾遺和歌集』25 番歌のイタリア語訳

Edoardo Gerlini エドアルド・ジェルリーニ

### <イタリア語への試訳と日本語逐語訳>

*Trascinati l'un l'altro, siamo oggi usciti nei campi, a tirare il pino del giorno del topo, affinché ora s'allunghi sì la vita di mille anni ancora.*

(お互いに引き連れて、今日、ネズミの日の松を引っ張りに野原に出かけた。寿命がまた千年も伸びるように。)

1	Trascinati l'un l'altro	1	お互いに引き連れて、
2	siamo oggi usciti nei campi,	2,7	今日、野原に出かけた、
3	a tirare il pino del giorno del topo,	3	ネズミの日の松を引っ張りに、
4	affinché ora s'allunghi sì la vita	5,7	寿命が伸びるように
5	di mille anni ancora.	6	また千年も。

### <考察>

#### 1. 詩形とリズムについて

決まった詩形を使っておらず、イタリア語の響きを特に生かすところがない。

#### 2. 詞書と作者名の試訳

Soggetto sconosciuto (題目が知られていない)、ほぼそのまま。

#### 3. 和歌本文の試訳

イタリア語では、日本語の懸詞のように重複する意味を一つの言葉で表現できないため、該当歌は非常に訳しにくいものである。なお、「子の日」という、年中行事を背景にする表現は脚注なしには理解できないため、そのままイタリア語で読んでも、新年という設定なども理解できない。

##### 3.1. 「ひきつれて（人々を引き連れて・松を引いて）」という表現（掛詞）の翻訳

trascinati (引きずって無理やり動かされた) tirare (引っ張る) s'allunghi (伸びる) という異なる動詞を用いて、「引く」と「伸ぶ」の繰り返しを翻訳してみた。人々を引き連れろという意味を l'un l'altro (互いに) で伝える。また、「いでつる」という動詞の主語を siamo usciti

(我々が出かけた) という複数形で訳した。

### 3.2. 子日という年中行事と小松引きという習俗の翻訳、伝達

giorno del topo (ネズミの日) として訳した。「ねのひゃ根のび」という懸詞は訳していない。

### 3.3. 「のべ (野辺・延べ)」という掛詞の翻訳

二つの意味を *nei campi* (野辺に、野原に) *a tirare* (ひっぱり、伸べに) と二つの表現に分けた。

### 3.4. 係り結び(「ぞ」+連体形)の反映

Si (このように) で強調した。それに、*la vita* (寿命、人生) を加えることで、「千歳のびる」のは松ではなく、人々の寿命であることを明らかにした。これがないと、小松引きという習俗を知らない読者は全く意味がわからなくなると判断した。